

# 埴生・平和橋遊水地整備 これまでの動きと今後の予定

## (信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの 事業期間の変更)

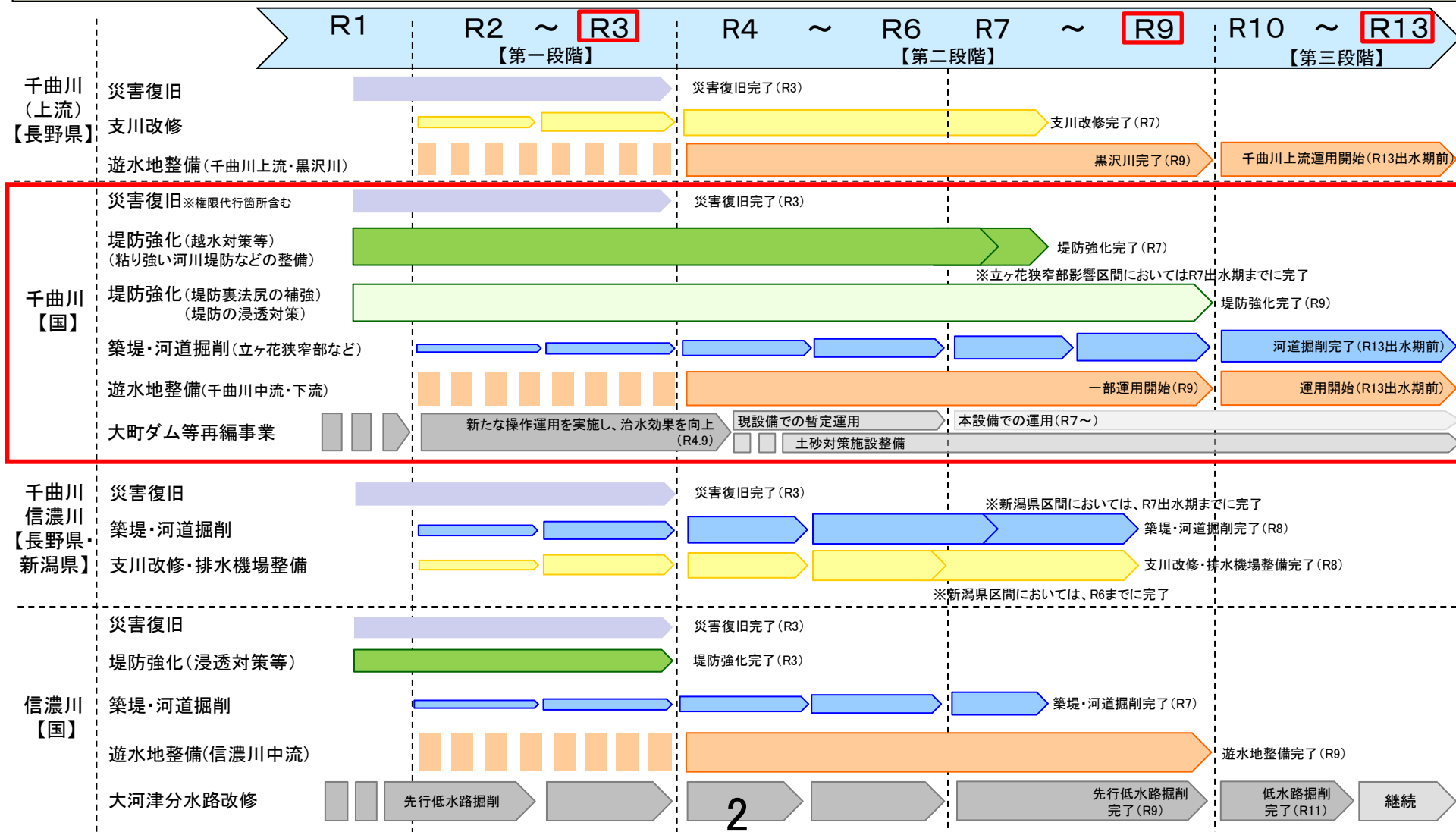
令和7年12月23日  
国土交通省北陸地方整備局  
千曲川河川事務所

# 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにおける遊水地整備（千曲川大臣管理区間）

- 令和元年東日本台風による洪水を踏まえた信濃川水系緊急治水対策プロジェクトにおいて、千曲川の国土交通大臣管理区間では5箇所の遊水地の整備を行います。
- 令和7年10月時点で上今井、埴生の両遊水地の工事を実施中であり、塩崎遊水地の工事（排水樋門整備）に令和7年11月に着手しました。また、蓮、平和橋の両遊水地についても今後順次工事に着手予定です。



- 【第一段階】 令和元年東日本台風による災害復旧について令和3年度までに完了
- 【第二段階】 改良復旧である堤防強化（粘り強い河川堤防構造など）や大町ダム等再編事業（容量再編）を完了  
並びに一部遊水地の運用を開始することで、一定の効果を発現
- 【第三段階】 遊水地、河道掘削（立ヶ花狭窄部など）を令和13年度までに完了  
なお、緊急治水対策プロジェクトで目標とする効果は令和13年出水期前までに発現





# <上今井遊水地整備> 事業期間・事業完了時期の変更

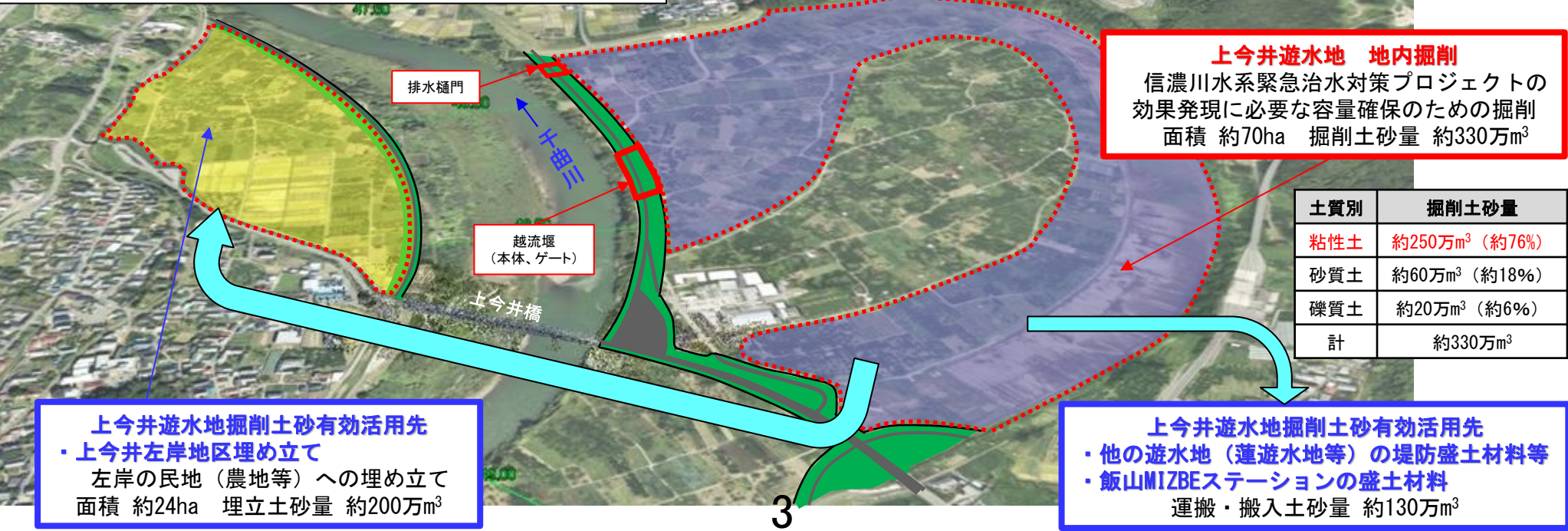
- 上今井遊水地は、事業着手以降、地元・関係機関等と調整・協議を行いながら現地調査、設計を実施し、令和6年9月には現地状況の確認や地元調整を踏まえた詳細設計、事業の一定の進捗等を踏まえ事業費の変更を実施してきました。
- 事業費の変更以降、緊プロ事業全体工程のクリティカルとなる遊水地の容量確保のための大量の掘削土砂（約330万m<sup>3</sup>）の有効活用先として、上今井左岸地区の埋立計画地における施工方法等の検討及び地元調整を行った結果、令和6年度内に埋立計画地の地権者の同意が得られ、土砂有効活用のための調整が整ったことから、上今井遊水地全体の施工計画、事業期間について検討しました。
- 掘削土砂の有効活用先（上今井左岸地区埋め立て、他の遊水地、飯山MIZBEステーション等）への運搬・搬入計画、盛土や埋立の施工計画について詳細な検討、それに伴う、遊水地の掘削・掘削土砂改良の施工計画の見直しを行いました。
- その他、遊水地全体の各種施設の施工計画も検討した結果、上今井遊水地の信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの事業期間は令和13年度末までとなり、目標達成時期は、令和9年度末から令和13年度出水期前に変更が生じました。

## ■上今井遊水地のこれまでの動き

令和元年10月	令和元年東日本台風による洪水発生
令和2年1月	信濃川水系緊急治水対策プロジェクト策定
令和3年1月	地元説明会開催（地元・関係機関等との協議・調整）
令和4年11月	用地買収に着手
令和5年5月	上今井遊水地工事に着手
令和6年9月	事業費の変更
令和7年3月	上今井左岸地区埋立計画地の地権者同意

## ■上今井遊水地 事業工程（イメージ図）

時点別	R2	R9	R13
R2.1計画策定時	R9年度末 目標達成 事業完了		
R7.10見直し	R13年度出水期 目標達成 R13年度末 事業完了		



**上今井遊水地 地内掘削**  
信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの  
効果発現に必要な容量確保のための掘削  
面積 約70ha 掘削土砂量 約330万m<sup>3</sup>

土質別	掘削土砂量
粘性土	約250万m <sup>3</sup> （約76%）
砂質土	約60万m <sup>3</sup> （約18%）
礫質土	約20万m <sup>3</sup> （約6%）
計	約330万m <sup>3</sup>

**上今井遊水地掘削土砂有効活用先**  
・上今井左岸地区埋め立て  
左岸の民地（農地等）への埋め立て  
面積 約24ha 埋立土砂量 約200万m<sup>3</sup>

**上今井遊水地掘削土砂有効活用先**  
・他の遊水地（蓮遊水地等）の堤防盛土材料等  
・飯山MIZBEステーションの盛土材料  
運搬・搬入土砂量 約130万m<sup>3</sup>

# 埴生遊水地



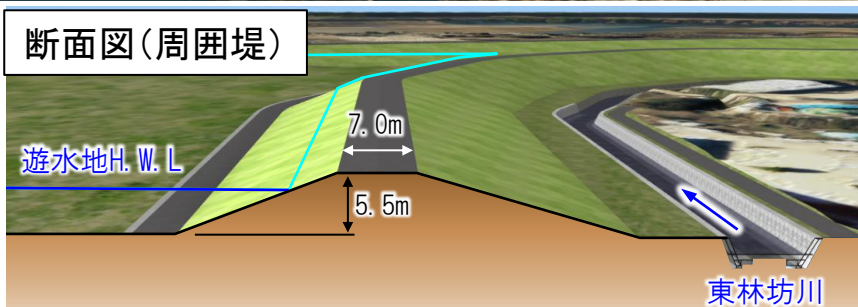
## < 埴生遊水地整備 > 整備の内容

- 埴生遊水地では、遊水地に貯留した洪水を排水するための排水樋門の整備を行い、囲繞堤（いぎょうてい）となる千曲川の堤防と周囲堤の整備により遊水地としての器を確保するとともに、堤防を部分的に切り下げ洪水を取り込むための越流堤の整備を行います。
- また、千曲川の洪水時に支川の東林坊川の水位が上昇することによる堤防背後地の浸水被害防止のため、背割堤を整備することで千曲川の洪水時における東林坊川の水位を低下させます。

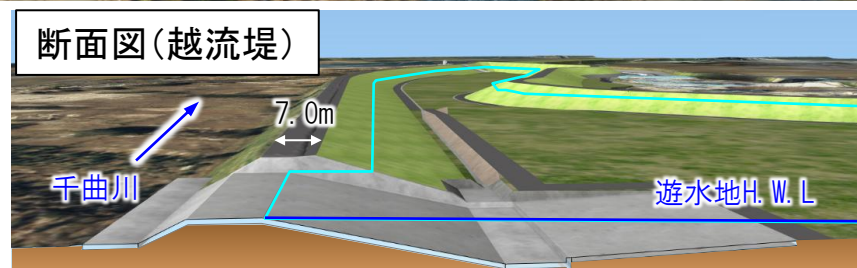
平面図



断面図(周囲堤)



断面図(越流堤)



## < 埴生遊水地整備 > これまでの動き

- 埴生遊水地の整備にあたっては、令和2年12月、翌年3月に地元区の皆様に遊水地整備計画の説明会を開催し、令和3年11月に地権者の皆様方を対象とした説明会を開催しました。
- また、地元の皆様方、地権者の皆様方のご理解とご協力のもと、地元千曲市と連携しながら遊水地の事業計画の検討や各種調査・設計を行うとともに、令和4年11月より用地買収を進め、令和5年5月に起工式を開催しました。
- 令和6年10月には排水樋門が完成し、現在、背割堤・周囲堤・囲繞堤等の工事を進めています。

(令和2～3年度)

基準点・地形測量・地質調査業務実施・遊水地施設設計実施(水理模型実験含む)実施

令和2年12月 地元説明会(新田区・中区 遊水地事業・緊プロ概要・計画地・背割堤説明)

令和3年 3月 地元説明会(杭瀬下区 遊水地事業・緊プロ概要・計画地・背割堤説明)

令和3年11月 地元説明会(地権者 遊水地施設説明・平面図提示・背割堤効果説明・アンケート結果報告・用地買収方式)

令和3年11月 地元説明会(9条地占所有者 緊プロ概要・遊水地施設説明・背割堤説明)

(令和4年度)

用地測量・幅杭測量・遊水地関連施設等設計実施

令和4年 4月 地元説明会(地権者 事業範囲説明・整備後土地利用案提示

・用地説明・用地調査・地質調査・測量・幅杭設置測量告知)

令和4年 7月 地元説明会(地元区 遊水地施設説明・背割堤効果説明

・用地説明・用地調査・地質調査・測量・幅杭設置測量告知)

令和4年11月 地元説明会(地権者 整備後土地利用(市民菜園関係)アンケート結果報告)

令和4年11月 用地買収着手

(令和5年度)

令和5年 5月 起工式

工事着手 (排水樋門工事・背割堤工事)

令和5年 4月 地元回覧 (地元区 事業地拡大の案内・説明)

(令和6年度)

令和6年 8月 地元説明会(越流堤地権者 事業説明・排水樋門工事・越流堤・用地説明)

令和6年10月 排水樋門完成

(令和7年度)

令和7年 6月 地元説明会(地元区 工事進捗説明)



令和2年12月 地元説明会の状況  
(おおとりプラザにて)



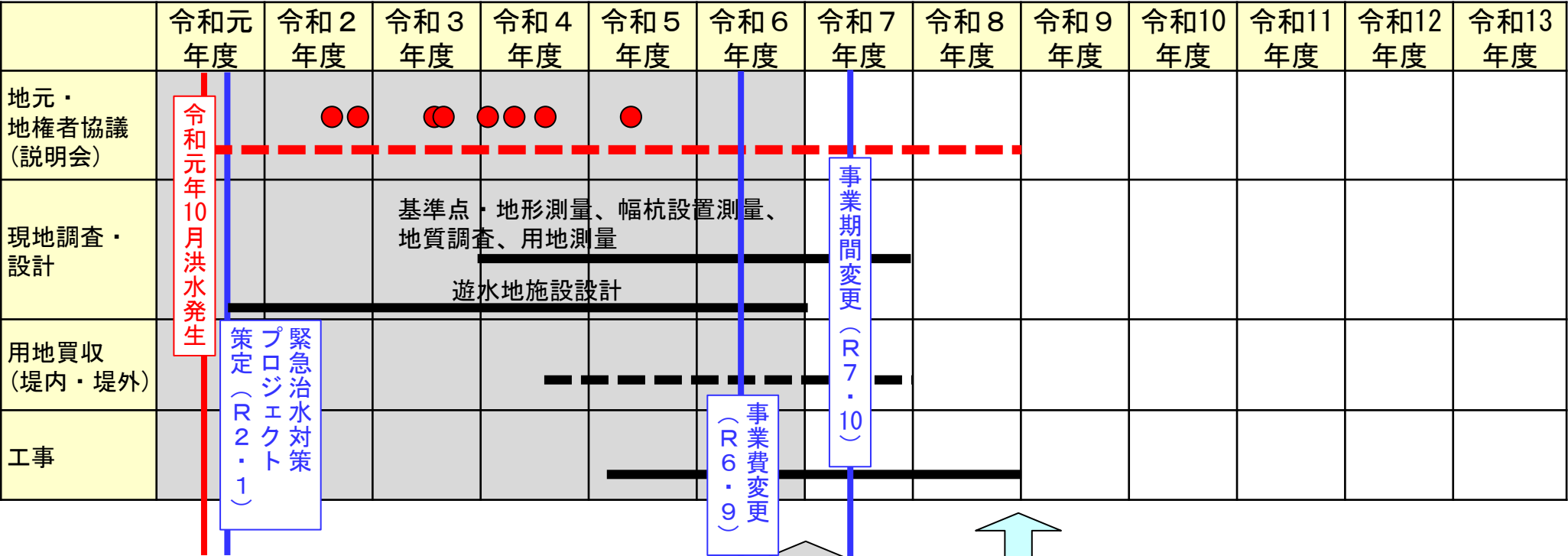
令和4年4月 地元説明会の状況  
(千曲市役所にて)



# < 埴生遊水地整備 > 事業期間・事業完了時期の変更

- 埴生遊水地ではこれまで、地元・地権者の皆様への事業計画のご説明と協議、測量等の現地調査、遊水地施設の設計、用地買収の各段階で、地元の皆様方と調整を行いながら実施してきました。
- 令和6～7年度に、現時点までの進捗状況、遊水地全体の工事量を踏まえ、施工方法、施工計画の検討を行いました。
- これまでの各段階で実際に要した期間や進捗状況、工事に要する期間について検討の結果、埴生遊水地の事業期間、事業完了時期（遊水地の効果発揮時期）は当初計画の令和6年度末から令和8年度末に変更する必要が生じました。
- 地元の皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、用地買収、工事を安全かつ着実に進め、1日も早い遊水地の完成を目指してまいります。

## 埴生遊水地 これまでの動きと今後の工程（令和7年10月見直し）

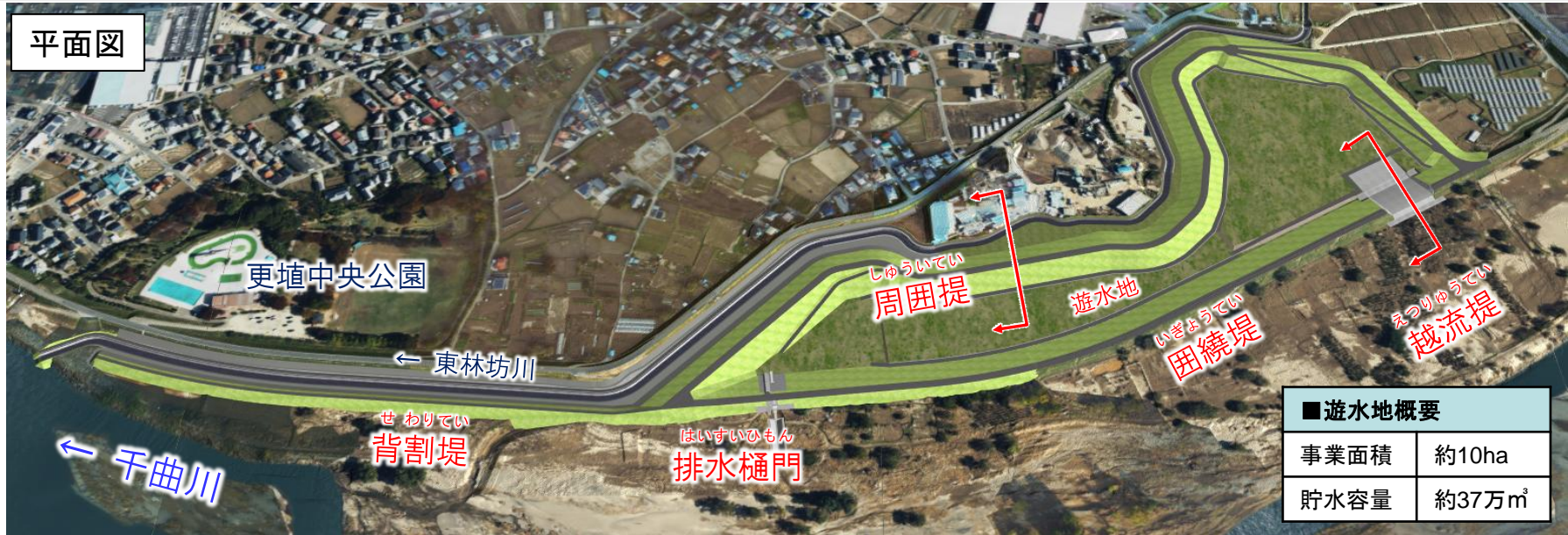


※上記は令和7年12月時点の工程であり、今後現地状況や地元調整状況、その他不測の状況が生じた場合、工程の変更を検討する可能性があります。



## < 埴生遊水地整備 > 今後の工事予定(令和7年12月時点)

- 埴生遊水地の工事は、令和6年10月に排水樋門が完成し、令和7年12月現在、遊水地の堤防（囲繞堤、周囲堤）整備、背割堤の整備を行っています。
- 今後、堤防の整備状況を踏まえ、洪水を遊水地へ流入させるための越流堤の工事を行います。
- 引き続き地元の皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、用地買収、工事を安全かつ着実に進め、1日も早い遊水地の完成を目指してまいります。



### 埴生遊水地整備 工事工程 (令和7年12月時点)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
排水樋門・堤外水路	■	■			
堤防（囲繞堤、周囲堤）		■	■	■	
堤防（背割堤）	■	■	■	■	
越流堤				■	

※上記は令和7年12月時点の工程であり、今後現地状況や地元調整状況、その他不測の状況が生じた場合、工程の変更を検討する可能性があります。



# < 埴生遊水地整備 > 現在までの工事進捗状況(令和7年12月時点)

- 埴生遊水地の工事は、令和5年5月より排水樋門の工事に着手しました。
- 令和7年12月現在、遊水地の堤防(囲繞堤、周囲堤)及び背割堤の整備を行っています。



## 令和7年度の工事箇所※

- ・ 背割堤工事 (令和7年7月工事完了)
- ・ 周囲堤工事及び東林坊川付け替え工事 (令和7年8月より工実施中)
- ・ 囲繞堤工事及び周囲堤工事 (令和7年度より工事実施)

※工事予定は現時点の想定であり、今後の現地状況等により変更となる場合があります。

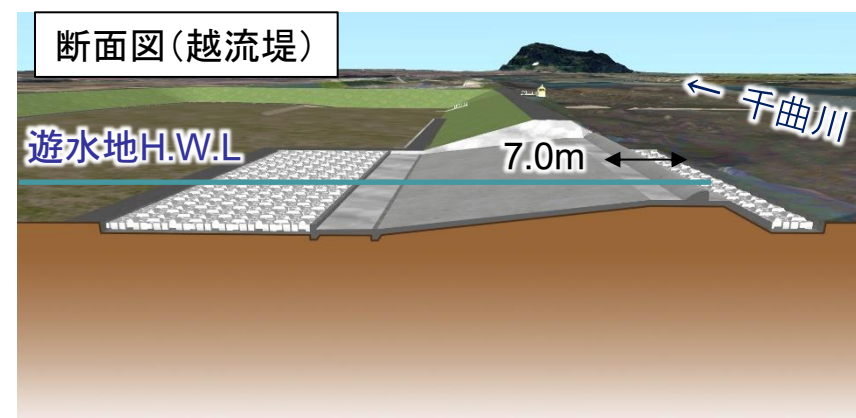
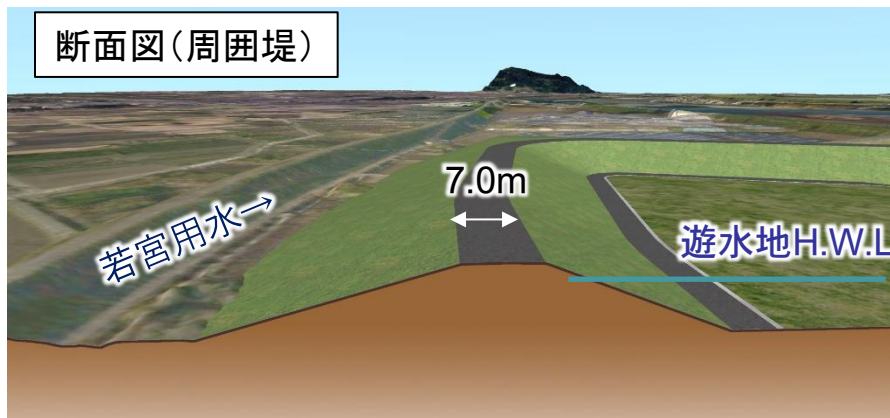


# 平和橋遊水地



## <平和橋遊水地整備> 整備の内容

- 平和橋遊水地では、遊水地に貯留した洪水を排水するための排水樋門の整備を行い、囲繞堤（いぎょうてい）となる千曲川の堤防と周囲堤の整備により遊水地としての器を確保するとともに、堤防を部分的に切り下げ洪水を取り込むための越流堤の整備を行います。



## ＜平和橋遊水地整備＞ これまでの動き

- 平和橋遊水地の整備にあたっては、令和2年12月に八幡地区の皆様に遊水地整備計画の説明会を開催、翌年3月に代団地の皆様に、11月に地権者の皆様方を対象とした説明会を開催しました。
- また、地元の皆様方、地権者の皆様方のご理解とご協力の下、地元千曲市と連携しながら遊水地の事業計画の検討や各種調査・設計を行うとともに、令和5年10月より用地買収を進めてまいりました。

（令和2～3年度）

基準点・地形測量、遊水地施設設計実施（水理模型実験含む）実施

令和2年12月 地元説明会（八幡地区 遊水地事業・緊プロ概要説明・平和橋計画地説明）

令和3年 3月 地元説明会（八幡代団地 遊水地事業・緊プロ概要説明・イメージパース提示）

令和3年11月 地元説明会（地権者説明 施設説明・アンケート結果報告・用地買収方式）

（令和4年度）

用地測量・幅杭測量・地質調査業務実施・遊水地関連施設等設計実施

令和4年 8月 地元説明会（八幡代団地 浸水対策案の提示、測量・地質調査・幅杭測量告知）

令和4年 9月 地元説明会（地権者説明 浸水対策案の提示、測量・地質調査・幅杭測量告知）

令和4年11月 合同現地調査（洪水時の浸水位を確認）

令和5年 2月 地元説明会（地権者説明 設計概要説明、浸水対策案の説明、  
用地の進め方の説明（現地調査・算定・調書確認・個別説明等）



令和4年8月 地元説明会（八幡代団地）  
の状況（八幡代公民館 2階にて）

（令和5年度）

令和5年 7月 地元説明会（八幡代団地 浸水対策案説明）

令和5年10月 用地買収着手

令和6年 3月 地元説明会（八幡代団地 浸水対策案詳細説明）



令和6年3月 地元説明会（八幡代団地）  
の状況（八幡代公民館 2階にて）

（令和6年度）

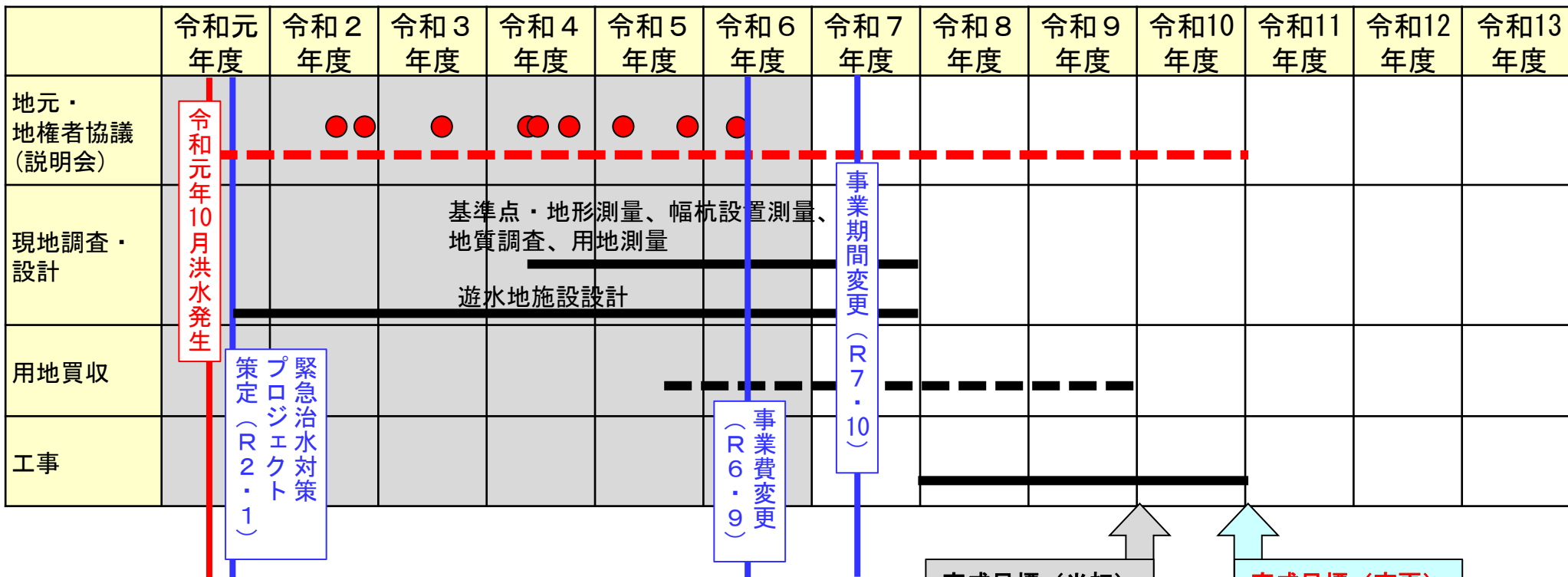
遊水地路線測量業務

令和6年 6月 現地説明（八幡代団地 浸水対策案現地確認・説明）

## <平和橋遊水地整備> 事業期間・事業完了時期の変更

- 平和橋遊水地ではこれまで、地元・地権者の皆様への事業計画のご説明と協議、測量等の現地調査、遊水地施設の設計、用地買収の各段階で、地元の皆様方と調整を行いながら実施してきました。
- 令和6～7年度に、現時点までの進捗状況、遊水地全体の工事量を踏まえ、施工方法、施工計画の検討を行いました。
- これまでの各段階で実際に要した期間や進捗状況、工事に要する期間について検討の結果、平和橋遊水地の事業期間、事業完了時期（遊水地の効果発揮時期）は当初計画の令和9年度末から令和10年度末に変更する必要が生じました。
- 地元の皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、用地買収、工事を安全かつ着実に進め、1日も早い遊水地の完成を目指してまいります。

### 平和橋遊水地 これまでの動きと今後の工程（令和7年10月見直し）



※上記は令和7年12月時点の工程であり、今後現地状況や地元調整状況、  
 その他不測の状況が生じた場合、工程の変更を検討する可能性があります。



## <平和遊水地整備> 今後の工事予定(令和7年12月時点)

- 平和橋遊水地の工事は、令和8年度以降、排水樋門、遊水地の堤防（囲繞堤、周囲堤）工事に着手し、堤防の整備状況を踏まえ、洪水を遊水地へ流入させるための越流堤の工事を行います。
- 引き続き地元の皆様方のご理解、ご協力をいただきながら、用地買収、工事を安全かつ着実に進め、1日も早い遊水地の完成を目指してまいります。



### 平和遊水地整備 工事工程 (令和7年12月時点)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
排水樋門・堤外水路					
堤防（囲繞堤、周囲堤）					
越流堤					

※上記は令和7年12月時点の工程であり、今後現地状況や地元調整状況、その他不測の状況が生じた場合、工程の変更を検討する可能性があります。